

エルクラウド
ELCLOUDのサービスは3ステップでご利用いただけます

各種サービスのご利用について

管理支援	スマホ呼び	ロボット連携
1 エレベーターにクラウド接続用インターフェース (ELCLOUD対応) を設置します。		
2 パソコン、タブレット、スマホで専用Webページにアクセスします。	2 スマホに専用アプリをダウンロードします。	2 ロボットとエレベーターをクラウド間で連携させます。
3 運行状況の確認と遠隔操作による一部機能のオンオフ制御などが可能になります。	3 専用アプリにより、スマホでエレベーターを利用できます。	3 ロボット専用運転でエレベーターを利用できます。

東芝エレベータークラウドサービス ELCLOUD (エルクラウド) のご利用について

- ELCLOUDのご利用は、東芝エレベーター株式会社との保守契約が必要です。
- クラウド接続用インターフェースは、昇降路内または機械室内に設置します。
- クラウド接続用インターフェースは、LTE回線を利用しています。LTE通信の届かない場所では、ELCLOUDの各種サービスはご利用いただけません。
- スマホ呼びサービス専用アプリは、スマホのOSバージョンによりご利用いただけない場合があります。
- ロボット連携サービスをご利用の場合は、一般社団法人ロボットフレンドリー施設推進機構の規格に準拠したインターフェースのロボットを、お客さまにてご準備ください。
- 各種サービスのご利用には、別途サービス契約が必要な場合があります。
- 弊社は、お客さまへの事前の通知なく、本サービスの内容の追加、変更、一部終了等をできるものとします。
- ELCLOUDの詳細については、弊社までお問い合わせください。

 **安全に関する注意**

- 法令を順守してください。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

TOSHIBA

東芝エレベーター株式会社

本社 〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72-34

東芝エレベーター株式会社の最新情報や製品情報は、下記インターネットホームページをご覧ください。

<https://www.toshiba-elevator.co.jp/>

 この印刷物は、環境に配慮した植物油インクを使用しております。

●このカタログは2026年6月の発行です。仕様および外観は、改良のために予告なしに変更することがあります。

GK-A225 (1) -23.11 3000-26.06 (MI)

©TOSHIBA ELEVATOR AND BUILDING SYSTEMS CORPORATION 2026

TOSHIBA

東芝エレベータークラウドサービス

ELCLOUD

エルクラウド

管理支援サービス
スマホ呼びサービス
ロボット連携サービス

エレベーターをクラウドで進化させる「ELCLOUD」

ELCLOUDは、
エレベーターをクラウドにつなぐことで、
新しい価値を提供します。



毎日の移動を、スマートに、そして快適に。ELCLOUDは、エレベーターがクラウドとつながることで、日常を便利にするさまざまなサービスを継続的に行います。これによって、エレベーターはメンテナンスによる性能維持に加え、常に成長しながら新しい価値を作る空間へと進化します。

ELCLOUD (エルクラウド) とは、Elevator (エレベーター) が Cloud (クラウド) とつながり、建物やライフスタイルの変化と共にエレベーターも成長していく東芝エレベータークラウドサービスの総称です。弊社は、お客さまへの事前の通知なく、本サービスの内容の追加、変更、一部終了などをできるものとします。

ELCLOUDで、できること。

ELCLOUDは、建物用途に合わせて「管理支援」「スマホ呼び」「ロボット連携」の各サービスを組み合わせ、利用者体験の向上と運営効率化を両立します。



ELCLOUDが選ばれる理由。



エレベーター設置後も安心・便利に使い続けられるように、お客さまのライフスタイルの変化に寄り添いながら「新しいサービス」を追加します。物理的なエレベーター工事を必要とせず、ソフトウェアの追加やアップデートだけで、機能の追加・変更などが可能になり、建物用途の変更やテナントの入居・移転などに合わせてエレベーター自身が進化していきます。

「ELCLOUD」の概要を、動画でもぜひご覧ください。



見える、操れる。エレベーターがもっと身近に

リモートで管理業務支援

管理支援サービス



エレベーター管理、こんな課題を感じていませんか？



現地確認に
時間がかかる



トラブル対応が
後手に回る



人手不足で
手が回らない

エレベーターの管理や設定



エレベーター管理を、現場から解放。
見える化・遠隔操作で実現する新しい管理支援サービスです。

お手元のスマホやパソコンから運行状況の確認や待機階の変更、換気ファンのオンオフなどが実行できます。遠隔操作によって、現地まで行かずに業務の効率化が速やかに図れます。

遠隔運行管理



異常状態になっているエレベーターを一覧で表示可能。

エレベーターの状態の詳細を個別に確認可能。

遠隔操作



遠隔でエレベーターの一部機能のオンオフ設定が可能。

管理支援サービスの機能については今後追加予定

実際の体験を通じて、災害時に求められる対応とその重要性をご紹介します。



2019年の台風19号による浸水の影響で、エレベーターが長期間停止し、復旧に時間を要しました。私が住んでいる6階での生活は大きな負担となり、特に高齢の方や子育て世帯への影響は深刻でした。台風時パーキングの遠隔操作によってエレベーターを適切に制御できる仕組みがあれば、こうした被害の軽減につながったのではないかと感じています。

東京都世田谷区在住 | さま
(6階建てマンションにお住まい)



「管理支援サービス」の概要を、動画でもぜひご覧ください。

エレベーターを手のひらの中で操作

エレベーターとロボットをつなぐ

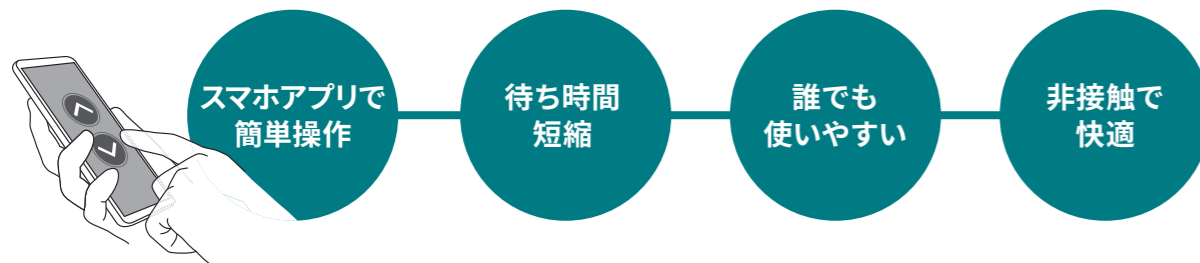
利用者体験向上 スマホ呼びサービス



エレベーター利用、こんな不満はありませんか？



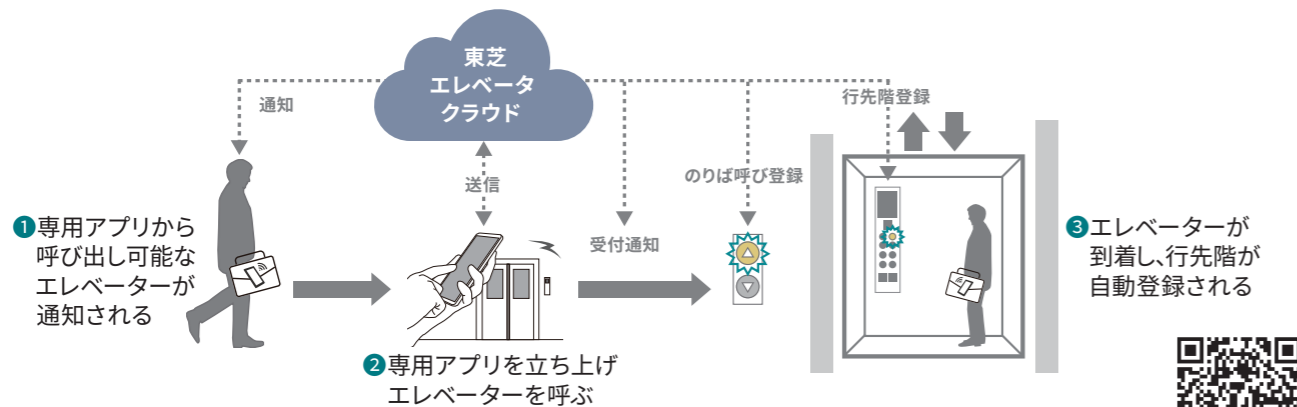
スマホがエレベーターの操作パネルに



エレベーター利用者の利便性向上

ご利用さまのスマホに専用アプリをダウンロードして、事前にご利用のエレベーターと乗車階、行先階を登録しておけばワンタップで操作完了。車いすをご利用の方やお身体が不自由な方も、エレベーターのボタンを操作せず、お手元でエレベーターを操作できます。

「スマホ呼びサービス」の仕組み



「スマホ呼びサービス」の概要を、動画でもぜひご覧ください。



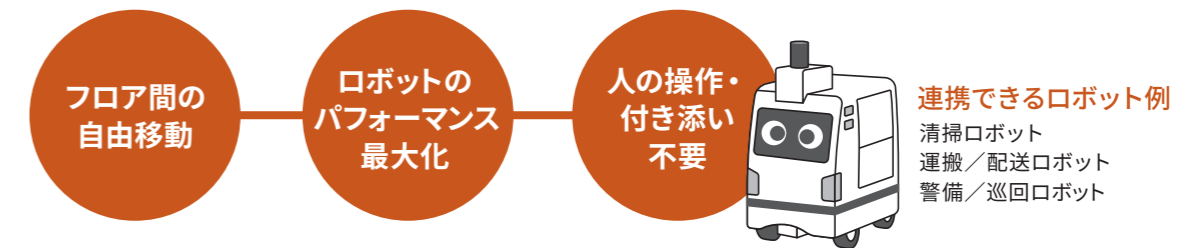
人手不足解消／自動化 ロボット連携サービス



ロボット活用、こんな壁にぶつかっていませんか？



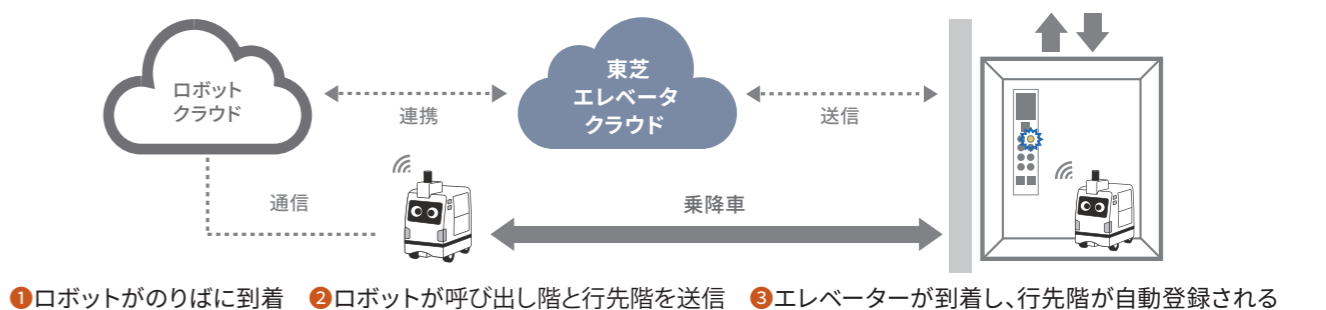
ロボットが自律的にエレベーターを利用して建物内を自由に移動



ロボット移動範囲の建物全体への拡張

清掃や運搬、警備などを担うサービスロボットの導入は、業務の効率化や人手不足の解消に期待されています。（一社）ロボットフレンドリー施設推進機構の規格に準拠したインターフェースを持つロボットなら、ELCLOUDと連携しエレベーターを利用可能。ロボットが他のフロアにも移動でき、活動範囲が一気に広がります。

「ロボット連携サービス」の仕組み



※ロボット連携サービスをご利用の場合は、一般社団法人ロボットフレンドリー施設推進機構の規格に準拠したインターフェースのロボットを、お客さまにてご準備ください。

「ロボット連携サービス」の概要を、動画でもぜひご覧ください。

